

令和7年度 第2回尾張旭市介護保険運営協議会会議録

1 開催日時

令和7年11月27日（木）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

2 開催場所

市役所4階 第1委員会室

3 出席委員

小塩泰代、日比野壮貴、可児寿英、鷺尾幸子、古橋完美、秋田誠、岡田敏彦、柴田豊、與語純子、斎藤恵津子、鈴木亮二、橋本千尋、瀬木敦子、藤川千恵（計14名）

4 欠席委員

長谷川裕子（1名）

5 傍聴者数

なし

6 出席した事務局職員

健康福祉部長 白井武男、長寿課長 坂田みどり、長寿課長補佐兼長寿支援係長 秋山さちこ、長寿課介護保険係長 佐藤隆亮、長寿課庶務係長 松平康介、長寿課主事 中島万由子、地域包括支援センター所長 松野宏美、地域包括支援センター次長 星原淳一、生活支援コーディネーター 森島一樹、オブザーバー 株式会社 サーベイリサーチセンター名古屋事務所 杉田純一 田口直美

7 議題

- (1) 介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認について
(資料1)
- (2) 尾張旭市地域包括支援センターの事業評価について (資料2)
- (3) 地域包括支援センターの整備について
- (4) 地域密着型サービス事業所の廃止について (資料3)
- (5) 尾張旭市地域密着型サービス事業者募集結果について (資料4)
- (6) 第10期高齢者保健福祉計画の策定について (資料5)

8 会議要旨

< 開 会 >	
事 务 局	長寿課長の坂田でございます。定刻となりましたので、始めさせていただきます。 本日は、お忙しい中、令和7年度第2回尾張旭市介護保険運営

	<p>協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。本日は、長谷川委員から、都合によりご欠席と伺っておりますが、14名の委員の御出席をいただいており、尾張旭市介護保険運営協議会規則第5条第2項の規定にあります定足数に達しておりますことを、報告させていただきます。</p> <p>なお、この協議会は、尾張旭市附属機関等の基本的取扱いに関する要綱第6条の規定に基づき、公開により開催されます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、会長の小塩様からあいさつをいただきます。</p>
小 塩 会 長	＊＊ あいさつ ＊＊
長 寿 課 長	<p>続きまして、年度途中ではありますが、異動がありました事務局職員を紹介させていただきます。長寿課介護保険係長 佐藤隆亮です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>また、前任の介護保険係長であった松平が庶務係長となりましたので、併せてご承知おきください。</p>
	<p>それでは、議事に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきます。</p>
	＊＊ 資料の確認 ＊＊
	<p>それでは、以降の議事の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。</p>
小 塩 会 長	<p>それでは、議題に入ります。本日は、議題が6件ございます。</p> <p>初めに、議題(1)「介護予防支援委託業に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認について」地域包括支援センターから説明をお願いします。</p>
地域包括支援センター 松 野 所 長	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	<p>ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はございませんでしょうか。</p> <p>御意見、御質問等ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p>
	では、議題(2)「尾張旭市地域包括支援センターの事業評価につ

	いて」地域包括支援センターから説明をお願いします。
地域包括支援センター 松 野 所 長	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はございませんでしょうか。
岡 田 委 員	達成度の評価の仕方について、3が「できている」とすると4にするために何か考えているのでしょうか。例えば、「地域ケア会議の議事録や検討事項を参加者間で共有しているか」について、自己評価が3点で、補足説明には「会議録を作成し、関係者間で情報共有を図っている」とあります。これが4点になることがありますか。
地域包括支援センター 松 野 所 長	項目によっては、3が最高評価になるものもあります。
岡 田 委 員	3点というのは、標準的すぎて評価としては曖昧に感じられるため、今後、見直しの機会があれば、改善点があるなら3点、なければ4点とするなど、評価基準を明確にすると良いかと思います。
地域包括支援センター 松 野 所 長	実はこの4段階評価は、事業評価が始まった当初、尾張旭市が任意で設定し評価しているもので、国へは○か×で報告するようになっております。4段階とした理由としては、自由度の高い評価項目によっては、プラスアルファの評価が可能なものもあるだろうという考え方があり、このような形を採用しております。
岡 田 委 員	○×で報告するように決まっているのなら、理解できます。
小 塩 会 長	ありがとうございます。 3点という評価の中でも、非常に4点寄りですとか、そういう幅もあると考えますと、○×での報告が分かりやすいなということと、特記事項の内容が重要になってくるかと思いました。
	他に御意見、御質問はありますでしょうか。
瀬 木 委 員	介護について、制度などが非常に難しくなってきており、細かく勉強していく必要がある中で、こういった評価がアバウト過ぎてしまうと、勉強したい私たちにとっては、意味がないように感じてしまいますがいかがでしょうか。

地域包括支援センター 松 野 所 長	評価内容については、国から基準が示され、それに従い自己評価をしているものではございますが、今後に向け、どなたにも分かりやすいような評価内容、特に会長がおっしゃった特記事項については、表現を工夫して作成していきます。
小 塩 会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>国が示している項目に対する尾張旭の現状については、特記事項の内容が重要かと思いますので、目を通していただき、疑問点があれば答えていただくことはできるかと思いますがよろしいでしょうか。</p>
瀬 木 委 員	はい。
小 塩 会 長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>御意見、御質問ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p>
事 務 局	では、議題(3)「地域包括支援センターの整備について」事務局から説明をお願いします。
小 塩 会 長	<p>ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はいかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>それでは次の議題に移りたいと思います。</p> <p>議題(4)「地域密着型サービス事業所の廃止について」事務局から説明をお願いします。</p>
小 塩 会 長	ただいまの説明について、御意見、御質問はいかがでしょうか。
秋 田 委 員	9名分の減床について、現状影響はないとのことで安心しました。仮に、利用者がある場合にはどのような対応をされるのか教えてください。
事 務 局	実は、今回の廃止についても利用者が5名おりました。その5名につきましては、3名が有料老人ホーム、2名が特別養護老人

	ホームへ問題なく移られております。我々としましても、利用者の方々に不利益のないように、事業者には適切な対応をお願いしておりますので、今後につきましても、適切な対応を求めていくという対応をさせていただきます。
小 塩 会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご本人様たちへの不利益というのが一番気になるところかと思いますが、そういったこともなく対応できているということで安心かなと思いました。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>御意見、御質問ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p>
事 務 局	それでは、議題(5)「尾張旭市地域密着型サービス事業者募集結果について」事務局から説明をお願いします。
小 塩 会 長	* * 説明 * *
小 塩 会 長	ただいまの説明について、御意見、御質問はいかがでしょうか。
岡 田 委 員	近年、岐阜や世田谷、松本市などでも公募に手が上がらなかつたということが数例あるようで。世間で言われるのはやはり、人件費や維持費の高騰、人材不足等についてで、小規模の法人の参入が難しくなっているように感じます。ただ、今後施設を希望するような方が増えてくることを考えると、当然計画通りに施設ができるいかないと、将来大変になるということは皆さんご存じだと思うので、各自治体とも連絡を取りながら、理由の深堀をしていって、障壁を下げる方法も考えていただけするとありがたいなと思います。来年以降、介護保険が見直されるため、少しは応募があるかなと思っていますが、これが数年続くと気持ち的に焦りますので、考えていっていただきたいです。
小 塩 会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>応募がない理由について、把握されていることはありますでしょうか。お願いいたします。</p>
事 務 局	問い合わせをいただいていた事業者に応募しなかった理由を伺ったところ、準備不足のためと回答をいただきました。周知からおよそ2か月弱の応募期間がありましたが、令和6年度には

	<p>ホームページでの公表にとどまっていたところを、今回メールでの周知を行ったことで初めて公募について知ったという事業者もありました。令和6年度時点で公募の存在を知っていれば、準備が間に合ったかもしれないという御意見もいただいております。これを受け、来年度の公募を前倒しして、今年度中に動けるよう、対策を立てながら検討を進めていきたいなと思っております。</p>
小 塩 会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>やはり小さい事業者では取組が難しいかなというところもあるかと思いますので、早めに周知していただけると、それに向けての準備や職員の確保といった対策もしてもらえるかなと思いますので、ぜひそのような形で、また次の機会を期待したいと思います。</p>
	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>では御意見、御質問もないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p>
	<p>それでは、議題(6) 「第10期高齢者保健福祉計画の策定について」事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>＊＊ 説明 ＊＊</p>
(株)サーバイリサーチセンター	<p>＊＊ 説明 (アンケート内容について) ＊＊</p>
小 塩 会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明について、御意見、御質問はいかがでしょうか。</p>
秋 田 委 員	<p>まずこれからいろいろな説明を受けるために、要介護者や要支援者がどんな状況になっているのかというところを聞いておきたいと思います。おそらく人口動態からして増加傾向だとは思いますけれども、年度、年次をある程度事務局で定めていただいて、対象者がどんな状況にあるのか、人数で簡単に教えていただければ、全体の流れが分かるので助かります。</p>
事 務 局	<p>要介護認定者数の推移についてですが、ご指摘のとおり、やはり増加傾向にあります。第7期計画の初年度が平成30年ですが、第1号被保険者数が2万1265人、うち認定者数は315</p>

	5人で、1号被保険者数の約14.8%であります。8期の初年度が令和3年になりますが、その時には第1号被保険者数が2万1832人。そのうち認定者数が15.9%を占める3475人。今回の9期計画初年度の令和6年では、第1号被保険者数は2万2141人。そのうち認定者数が17.9%を占める3964人となっております。
秋田委員	想定した通り、伸びているなと思います。 人数の割合も言っていただきましたが、分母にあたる高齢者数が増えて認定者の割合はどうした傾向にあるのか、伸び率など分かりやすく傾向を教えてください。
事務局	正確な総人口数を持ち合わせていないのですが、高齢者割合自体がやはり増加しておりますので、それに占める認定者数、認定割合というものが伸びておりますし、総人口に対する認定者数の割合も伸びていく傾向にあると、そういう認識であります。
秋田委員	だいたいの傾向は分かったので、それでよろしいかと思いますが、見込みを大きく間違えると、この先色々なところで市民にも影響してくるかと思いますので、健康都市を標榜して20年になる尾張旭市ですので、他の町がこうだからといった単純な数字の取り扱いはせずに、うち独自の見込みなんかも、事務局でしっかりと把握していただくと、これまでの20年の市民の歩みが、反映できていいかなと思います。そのところ注意深くお願いしたいと思います。
小塩会長	ありがとうございます。 他に御意見いかがでしょうか。
藤川委員	65歳以上のアンケートについて、無作為に届くことですが、もし私の父や夫にアンケートが届いた場合、日常生活での活動や行動について、食事の用意をしていますかとか、日用品の買い物をしていますかというのがありますが、うちの父世代は、もともとそういうことを全くしていないということもあるかと思うので、そういう項目があってもいいかなと思います。
小塩会長	貴重なご意見ありがとうございます。 そういうった項目の追加や、もう一度考えていただくというようなことはどれくらい可能でしょうか。
事務局	アンケートの内容については精査している最中ですので、そういうった貴重なご意見を反映できるかこちらでも検討させていただ

	き、反映できるところはもちろん反映させていきたいと思っております。
小 塩 会 長	<p>アンケートへの意見について、私からもよろしいでしょうか。</p> <p>12月に発送のスケジュールだということですけれども、この場で意見が出ればすぐお伝えできますが、持ち帰っていただいてゆっくり見て、ここどうなんだろうか、こんな質問があつたらいんじやないかというような意見が出た場合は、どのような形でお伝えしたらよろしいでしょうか。</p>
事 務 局	<p>12月の1週目までであれば、反映に間に合うかなと思いますので、メールや電話でも大丈夫ですので、何かしらの手段でお伝えいただければ、中身を精査させていただいて反映できるところはしていきたいと思います。</p>
小 塩 会 長	<p>分かりました。</p> <p>このあと意見がある場合には、メール等でご対応いただけるということでした。</p>
瀬 木 委 員	<p>無作為でやられるとのことですが、回答率はどのくらいでしょうか。高齢者で無作為でやられると回答できないこともあると思うんです。</p>
小 塩 会 長	<p>おそらくアンケート100%の回答率というのは、一般的に難しいと言われていますので、そのあたりを踏まえ、統計的に数字が出るように、配布数などを決めていらっしゃるかなと思いますので、少しご説明いただけるといいかなと思いますがよろしいでしょうか。</p>
事 務 局	<p>はい。まず前回の回答率なんですけれども、一般の65歳以上の方が71.2%、要介護認定者アンケートについては58.3%。介護サービス事業所が79.4%。介護支援専門員が87.7%で、ある程度の回答率にはなっていますが、当然回答率を上げたい思いもありますので、設問について、答えやすい内容にしたり、設問数を整理し必要なものに絞って多くなりすぎないようにしたり、中身について色々な面で精査させていただいて回答率が上がるよう考えております。</p>
小 塩 会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
岡 田 委 員	メールアドレスが分かるものありますか。

事務局	後程、お渡しできるようにさせていただきます。
小塩会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>回答率が71%、非常に高いなと思いました。皆さん、非常に関心があるとか、協力的なんだと思って、すごいなと思います。</p>
秋田委員	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>アンケートについて、違う角度から質問させていただきます。</p> <p>配布された4種類のアンケートを見させていただきますと、対象者が高齢者等に限られておりまして、計画の性格上、当然のことかなとは思います。その点は理解しますが、国などでは、現在若い世代の負担する社会保障関係費について、様々な角度から検討がされていると、私は承知しております。そのことを念頭に置くと、若い人の声というのは、今の負担をどうするかということもありますし、先々若い人たちもそうした年代になっていきます。もし、そこまで配慮されているようなことがあれば、若い人の声はどのように把握していくのか、教えてください。</p>
小塩会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ダブルケアですか、ヤングケアラーだとかいうことも非常に課題になっていると言われておりますので、そのあたりの情報をどのようにっていくことができるのかというご指摘だったかと思います。ご説明お願いします。</p>
事務局	<p>ご指摘はもっともで、若い方の意見も、市としては当然お聞きすべきものと認識しております。今回のアンケートでは、介護されている方、介護している方に回答いただく設問を設けさせていただいておりますので、例えば今お話のありましたヤングケアラーだったり、ダブルケアを行っている世代の方々の声というのも、計画策定に活かせるよう工夫して参りたいと思っております。また必要があれば、市で実施しております、まちづくりアンケートなども活用して対応していきたいと思っております。</p>
小塩会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>このアンケートの中でも、介護する側の方の意見が反映されることと、それ以外の機会でも、若い人たちの意見が反映される場があるというご説明だったかと思います。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>

	<p>では、御意見、御質問もないようですので、以上を持ちまして、本日の議題は終了とさせていただきます。</p> <p>それでは、事務局から今後の日程を含めた連絡事項等をお願いします。</p>
事務局	<p>＊＊ 説明 ＊＊</p> <p>・今後のスケジュール (次回 令和8年3月頃予定)</p>
小塩会長	<p>これをもちまして、令和7年度第2回尾張旭市介護保険運営協議会を終了させていただきます。本日は長時間に渡り御審議いただきまして、ありがとうございました。</p>